

東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 喜勢 陽一 様

南武線のワンマン運転化の中止を求める川崎市民連絡会議

久地駅と久地踏切の改善を求める会

中野島駅をよくする会

稻田堤駅と周辺の環境をよくする会

鹿島田・新川崎まちづくりの会

要請書

御社は 3 月 15 日より、常磐線と南武線をワンマン運転化しました。私たちは川崎市内で南武線の駅を利用し、その改善を求めている団体ですが、このワンマン化に対し、たいへん危機意識を持っています。

南武線は全線 35.5 キロメートルのうち、高架化されているのはわずかで、踏切が 71 力所もあります。そのうち 41 力所が川崎市内です。ほぼ毎日、踏切の危険横断などで緊急停止があり、重大な事故も後を絶ちません。発表されたワンマン化後の安全対策では、駅構内のドアの開け閉めに対して、ホームドアの設置や運転席のモニターの設置などは書かれていますが、現行でも運行中の安全対策はほぼすべて、運転士と車掌に任されており、急病人の対応や車両内の事故への対応など、駅構内にとどまらないさまざまな事象への対応をワンマン化によりすべて運転士に行わせるのは、あまりにも無理があると考えます。

この間私たちの会に、南武線利用者の方々から不安の声が届いています。「利用者も多く人身事故も多い路線でのワンマン運転は危険」「踏切の危険横断による列車の急停車が多く、遅延となる。車掌がいなくなれば対応に時間がかかり、さらに遅れるのではないか」「JR 職員がいない駅もあり、今でもトラブルや緊急時の初動対応に支障が出ている」「実際に踏切への立ち入り事件では、緊急停止した車両の乗務員が踏切の状況確認に来た」など、多くの利用者がワンマン運転化を懸念しています。

ワンマン運転化の目的は、最終的にはコストの削減と思われます。安全性のために厳しい規制がある公共交通機関である JR が、コスト削減を目的に安全対策を削るなどやってはならないことです。

よって、今回の南武線のワンマン運転化を中止するよう、連署をもって強く要請します。

要請項目

1. 南武線のワンマン運転化を中止すること

氏名	住所

※署名はどなたでも大丈夫です。この署名用紙は、JR 東日本に提出する以外に利用しません。